「会派くさしぎ・辻よし子市議会報告」第16号 2019年10月14日発行



無所属 一人会派 HP「 辻よし子と歩む会」で検索

会派くさしぎ 辻よし子の 市議会レポート

ѿ 197-0802

あきる野市草花 3012-20

T&F: 042-559-6941 携帯: 090-9386-1275

e-mail: kusasigi@nifty.com

小さな声に耳をすまし、大きな力にひるまず、コツコツと手作りの政治を!



9月議会・決算審議

市民目線でチェック!

く高過ぎる人件費>

武蔵引田駅北口土地区画整理事業は、業務の 大半を(株)オオバに委託しています。10年間 で予定額12億2000万円。2018年度は約2億 1300万円が支払われました。その内訳を開示 請求で入手したところ、驚くような数字が並ん でいました。

内訳の一部を分かりやすくまとめた表をご覧ください。

仕事の中身	1人当りの直接人件費	配置人数	
審議会当日の補助 (1~3時間程度)	約4万7000円~ 7万 1000円	2.5人/回	
審議会資料の作成 (進捗状況、土地区画整理の 基礎知識等)	約3万 5000円~ 4万 3000円	4人/回	
ニュースレターの作成 (A4判 2~4頁)	約3万 4000円~ 6万円	3.3人/号	

いくら専門的な知識を持った技術者が必要と は言え、法外な単価で配置人数も多過ぎるので はないでしょうか。

土地区画整理審議会は市の職員が進行し、(株) オオバの役割は補助にしか過ぎません。会議資料は委員に概要を説明するためのもので、膨大なデータを集めたような資料ではありません。

ニュースレター『かわら版』は、事業の進捗 状況をごく簡単にまとめたものです。市のHP にも掲載されていますので、よろしかったらご 覧になってみてください。高額な人件費の技術者を 3.3 人もそろえて作成するような内容とは思えません。

しかも、『かわら版』については 2018 年度当初の契約書の数値に間違いが見つかりました。 さらに、なぜか前年度よりも人件費が高く見積 もられていたことも分かりました。

<改善に期待>

なぜこのような積算になっているのか決算委員会で質問しましたが、納得のいく答弁は全く得られませんでした。ただ最後に、副市長が今回出された疑問を含め、(株) オオバの責任者と

会って話をすると答弁しました。この点は 一つの成果と言えるかもしれません。今後 の改善に期待します。

くこの決算を認めるのですか!?>

議会では土地区画整理事業に対する賛否が拮抗していますが、決算内容が妥当かどうかは、事業の賛否とは別の問題です。根拠が乏しいまま高額な人件費が支払われて

いることは、決算上問題です。

「賛否にかかわらず、議会として不認定にすべきではないか」と、事業に賛成をしている自民党・公明党の議員に、訴えました。

しかし、暖簾に腕押し……。自公の全員賛成で認定されてしまいました。



辻よし子が要望したこと、追及したこと、ピックアップ!

幼保無償化から取り残される子どもたち

幼保無償化によって市 の財政負担はどうなるか 心配しましたが、蓋を開 けてみたら、下半期で約

1億 5000 万円プラスになることが分かりました。

これまで市は、保護者の負担を軽減するために保育料を国の基準よりも安く設定し、差額を市で負担してきました。無償化に伴い、これまで市が支払ってきた差額分の4分の3を、国と都が出すことになりました。その額が大きいため、無償化による新たな持ち出し分を引いても大幅なプラスになるということです。

こうした中、忘れてならないのは、無償化から取り残される子どもたちがいることです。幼稚園類似施設に通う児童です。認可外保育施設については、保育の質が心配される施設もある中、5年間は無償化されることになりました。一方、幼稚園類似施設は特徴のある独自の教育を実践し、その教育理念に共感して子どもを通わせている保護者が多いにもかかわらず、無償化の対象から外されました。制度の欠陥と言わざるを得ません。

国に制度の見直しを求めつつ、改善が図られるまでの間は基礎自治体が支援すべきなのではないでしょうか。

現在、市内で幼稚園類似施設に通う子どもたちは21人です。無償化にした場合の市の負担は650万円程度。1億5000万円のプラスからすれば、十分可能な額ではないでしょうか。市の支援を強く要望しました。

不誠実な教育委員会の答弁

教員の負担軽減を図る ために、事務作業を補助 する非常勤のスクールサ

ポートスタッフ(SSS)が、昨年度から導入 されました。本来であれば、正規の教員をもっ と増やすべきで、ずいぶん場当たり的な中途半端な制度だと思います。しかし、現場の先生からは、SSSを配置したお陰で「子どもたちと触れ合う時間が増えた」「教材の準備ができるようになった」などの声が上がっているとの答弁が、教育委員会からありました。

一方、決算資料を見るとSSSを含む非常勤の予算が半分以上残っているのに、特にSSSについては何も書いてありません。そこで、決算審議でSSSの執行率を尋ねたところ、教育委員会はまともに質問に答えず、木で鼻をくくったような答弁をしました。子どもの教育に携わる部署だけに、誠実さの欠けた態度には、非常に疑問を感じました。

再度の質問の末、結局、 SSSの予算は約4割し か使えていなかったこと が分かりました。

秋川駅、五日市 駅前の受動喫煙 防止対策 今年度、東京都の補助金 を利用して、あきる野ルピ アや公民館など5つの公共 施設に受動喫煙防止対策を

講じた喫煙所が造られることになりました。受動喫煙防止対策として要望が多いのが秋川駅北口と五日市駅前広場です。通行客が多い場所に灰皿が置かれていて、受動喫煙防止対策が取られていません。灰皿そのものを撤去すべきという意見もありますが、そうすると歩きタバコや吸い殻のポイ捨てが増えるという問題もあり、なかなか難しいところです。

今回の補正予算に2駅の対策が含まれていなかったため市の考えを質したところ、2駅についてもパーテーション設置等による受動喫煙防止対策を取る方針であることが分かりました。12月の補正予算に、都の補助金が計上されることになるでしょう。

下水道事業の 見直しを!

2018年度の下水道管の 敷設工事で、新たに接続で きるようになった世帯は6

世帯 14 人、該当箇所の工事費は約8000万円です。昔は人口密度の高い地域で事業が進められていたため、1 人当たり数十万円の事業費でしたが、2010年以降は数百万円に跳ね上がり、年によっては2000万円を超えています。

浄化槽は個別に設置するので、人口密度の低い地域に向いています。浄化能力も下水道と変わりません。ただ、点検や清掃等の維持費がかかるため、下水道料金と比べると個人負担が大きくなります。

今後の整備に関しては、下水道にするか浄化槽にするか、費用対効果と個人負担の公平性の両面から、検討しなければなりません。また、2つの違いを住民に分かりやすく具体的に説明し、理解と合意を得ることが重要です。

一方、前号でもお伝えしたように、あきる野市では都市計画税の85%が下水道事業に使われているにもかかわらず、市街化調整区域に都市計画税が課されていません。この問題について、市は20年前に検討し、結論が出ていると主張しますが、「市街化区域と市街化調整区域との間で不公平が生じている場合は、市街化調整区域にも都市計画税を課すことができる」という内容が法律(地方税法702条)に明記されたのは、市が検討した時期よりも後のことです。また、他の自治体では不公平を是正するために、様々な工夫をしています。不公平な状態をこのまま放っておくのではなく、今からでも是正すべきではないでしょうか。



財務書類のミス

自治体の会計は単年 度、現金主義ですが、新 たに企業の会計方式(複 式簿記・発生主義)を 持ち込んだのが、新公 会計制度です。

決算審議の資料として配布された財務書類のバランスシートについて、前年度の資料と

比較したところ、不思議なことに気づきました。2018年度の固定資産が、特に大きな建物を建設したわけでもないのに、十数億円単位で増えているのです。この問題について決算審議で質問した結果、実は2017年度の財務書類が間違っていたことが明らかになりました。市営住宅を17億円で計上すべきところが、1桁間違えて1億7000万円で計上されていたのです。2018年度の財務書類ではそこを正しく修正したため2017年度と比べて、固定資産が増えてしまったというわけです。

行政の資産は、実際に売却して現金に換えられるものではありませんし、現金主義の単年度会計に何か影響が出るわけではありません。しかし、固定資産の額がこれほど大きく違っていたということは、やはり問題です。また、2018年度の財務書類を作成する段階で誤りに気付きながら、議会に何の報告もせず、修正した資料を黙って配布したことも大きな問題です。

他の議員からも市の責任を厳しく追及する声が上がり、議会は一端休憩に入り、急きょ会派代表者会議が開かれました。その結果を受けて、議会最終日に、市からミスが起きた経緯、今後の対応などについて詳しい報告がありました。

危機管理体制のあり方を見直す上でも、また、財務書類について理解を深める上でも、良いきっかけになった気がします。

市議会の HP に、すべての議 案の賛否を掲載しています。

賛否の分かれた主な議案(9月定例会議)

(○は賛成、×は反対)	くさしぎ (辻1人)	自民党 志清会 (議長を除く8人)	公明党 (3人)	未来 (5人)	共産党 (3人)	結果
平成 30 年度 一般会計決算	×	0		×	×	認定
平成 30 年度 国民健康保険 特別会計決算	X	0		0	×	認定
平成 30 年度 後期高齢者医療 特別会計決算	X	0	0	0	×	認定
平成 30 年度 介護保険 特別会計決算	X	0		\bigcirc	×	認定
平成 30 年度 下水道事業 特別会計決算	X	0		0	0	認定
平成 30 年度 引田駅北口土地区画整理事業 特別会計決算	X	0		×	×	認定
小規模保育事業の連携施設に関する条例改正	×			\bigcirc	×	可決
下水道条例の改正(消費増税に伴う料金の引き上げ)				\bigcirc	×	可決
引田駅北口土地区画整理事業を凍結し見直しを求める陳情	0	×	×		0	不採択
引田駅北口土地区画整理事業の推進を求める陳情	×			×	×	採択

読んでみませんか? 委員会の会議録

市が様々な政策を進める上で重要な役割を果た しているのが、専門家や

各種団体の代表、公募の市民などで構成される委員会・審議会です。会議でどのような審議が行われているか、市民には知る権利があります。しかし、あきる野市は会議録の公開が後れているため、他市との違いが分かる資料を作成し、一般質問で改善を求めました。前向きな答弁がありましたので、公開の進むことが期待できそうです。また、HPに載った会議録は、市の窓口で借りてコピー(有料)できるようにすることも確認できました。ぜひ、ご利用ください。すでに公開されている委員会としては、教育委員会、子ども子育て会議、公共交通検討委員会、自殺対策推進協議会などがあります。

市の課題がよく分かる

\$4\$\$4\$\$4\$\$\$\$\$\$\$\$\$\$\$

辻よし子の議会報告会9月議会のポイントを分かりやすくお伝えします!

議会の様子が

よく分かる

11月8日(金)

 $19:00\sim 20:30$

あきる野ルピア3階

産業情報室

申込不要・参加費無料

会派「くさしぎ」は、「草の根市議」から

取った名前です。政党や大きな組織に属さず、市民の横のつながりを大切に、草の根民主主義を目指して活動しています。

現在は、辻よし子だけの一人会派です。

* クサシギは水辺の野鳥です→

辻よし子プロフィール: 1960 年生まれ。小学校教員を経て、ボランティアとしてタイの農村教育に関わる。1995 年よりあきる野市に暮らす。「川原で遊ぼう会」を中心に、市内の環境保全活動に取り組む。3.11 以後、新たに脱

保全活動に取り組む。3.11以後、新たに脱原発の市民活動を始める。2015年10月の補欠選挙で初当選。現在2期目。夫、高3の次男、ネコ1匹と草花に暮らす。



HP をご覧ください!